

てくのクテ

アカウントの???

■アカウント

一般的に店頭でものを購入する場合に商品を手に取って会計をします。対面販売は個人が特定しているので個人の認証は必要ありません。しかし、インターネットの場合、商品が目の前にあるわけではありません。パソコンやスマホ等で画面を見て購入します。購入したのはいいのですがいったい誰が注文したのか？どこに発送すればいいのか？わかりません。これを特定するのにアカウント登録が必要になります。また、インターネットでは商品だけではなく便利なサービスがたくさんあります。これらのサービスを利用する場合もアカウント登録が必須になります。

■アカウントとは

アカウントとは、パソコンやスマホ等を利用してインターネットの様々なサービスにログインするための権利のことです。なぜ、アカウントが必要なのでしょう？例えば、同じサービスを利用する際に毎回、個人情報を入力するのは面倒な作業になります。アカウントを登録することで個人情報を継続的に扱うことができるからです。

■アカウント（IDとパスワード）

IDとはidentification（識別）の略です

アカウントは、サービスを利用するときに個人を特定するため、最低必要な情報としてパスワードと対をなして使用される、任意で英数字で決めるつづりのことです。ユーザーIDやログインIDとも言われます。銀行でいう、口座番号（キャッシュカード）と暗証番号のようなものです。IDはひとつのサービスに対してIDを複数作成することはできません。

ログインできます

ユーザID

パスワード

☐ ログインを記憶します

Non-SSLによるログインはこちら

アカウント→銀行口座
ID→口座番号（キャッシュカード）
パスワード→暗証番号



『てくのクテ』は、知っている方、知らない方を問わず、ITに関する色々な疑問???や、テクノ産業から皆さまにお伝えしたいこと等を、配信したいと考えております。

-お問合せ先-

TEL 0287-62-6010 FAX 0287-62-8998

E-mail : techno@tecowl.co.jp

- 那須高原のIT工房 -



株式会社

テクノ産業

〒325-0033 栃木県那須塩原市埼玉371-8

URL : <http://www.tecowl.co.jp/>

2019年4月 テクノカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

4月は
新しいスタートの時期てくのぉ！
てっくんぶくろの振りして
いるだけで空飛べないてくのぉ！
だから空飛ぶチャレンジするてくのぉ！
できないと思っているだけでやれば
できるかもしれないてくのぉ！
でも、頑張ってもできないことは
あるてくのぉ！
「でも」って言っちゃダメてくのぉ！
とにかくチャレンジが大事
てくのぉ！

アカウント作成

■IDを考える

アカウントを作成する場合、一般的に英数字の羅列で作成することがほとんどですが最近ではメールアドレスをIDとして登録することが多くなっています。IDを作成する場合に生年月日を入れる人がいますがIDは公開される場合がありますので生年月日を知られたくない方にはあまりお勧めできません。IDが取れない場合は作成日をIDに含めるといいでしょう。

■パスワードを考える。

パスワードを作成する場合、「1111」や「zxcv」とかキーボードを配置をパスワードに設定する人がいますがあまりお勧めできません。例えば、2222をどうして利用したい時は英数字を含めて222niとかNi2ni2のパスワードを設定しておく覚えやすいパスワードができます。

二要素認証で認証を強化しましょう。

各種Webサービスを利用する際に、通常のIDとパスワードに加えて、もうひとつ本人確認の要素を増やすことによって安全性を高めることができる技術方式です。認証には、認証の3要素があります。

■認証の三要素

知識認証 [Something You Know]

本人だけ知っている知識で認証する。

所持認証 [Something You Have]

本人だけが持っている物で認証する。

生体認証 [Something You Are]

本人の身体的特徴で認証する。

パスワード、PINコード
合い言葉

ICカード、キャッシュカード
ハードウェアトークン(ソフトウェア)

指紋、顔、虹彩、静脈

■二要素認証

知識認証、所持認証、生体認証のうち、各要素を組み合わせで行われる認証です。



■パスワードによる認証プラス二要素認証を導入しよう。

情報はどこから漏洩するかわかりません。そして、一度漏洩すると企業に深刻なダメージを与えるものになりかねません。パスワードによる認証では様々なリスクに対応しきれなくなっています。セキュリティは目に見える効果が少ないため、後回しとなりがちで、身近で問題が起こってから初めて導入の検討をするということが当たり前のようになっていきます。しかし問題が起こってからでは遅いため、事前にリスクの排除を行っておくことをお勧めいたします。